

令和 7 年度事業計画書

1. 基本方針

当協会は昭和 61 年に「栽培漁業に関する事業を行うことにより、水産資源の維持増大を図り、漁業の振興と県民生活の向上に寄与する。」ことを目的に設立され、今年で 39 年目を迎えることとなりました。

令和 4 年度から開始された第 8 次神奈川県栽培漁業基本計画に基づき、神奈川県の栽培漁業を実施していきます。

当協会の中核事業である種苗生産・放流並びに供給事業を行うことにより神奈川県の水産資源の維持増大を図ります。

今年度はマダイ、アワビ、サザエ、トコブシの種苗生産を行い、東京湾並びに相模湾への放流、漁業協同組合を始めとする水産団体への供給を行います。

魚類の種苗生産については引き続き協会の陸上施設で中間育成を実施し、経費等の削減を図り運営改善に努めていきます。

ヒラメを始め業界からの要望が高いカサゴ、メバル、マコガレイ種苗などを入手し放流供給します。

種苗の放流効果を高めるため放流方法を検討していきます。

そして、当協会の活動に理解と協力が得られるよう、漁業者はもとより広く神奈川県民に対し、東京湾並びに相模湾の海洋環境の保全と水産資源を豊かに保つ必要性を訴える普及啓発活動を行います。

放流イベント等は感染防止対策を行い実施していきます。また、広報紙「栽培ニュース」やホームページを活用し協会の活動について発信していきます。

当協会の運営については、漁業経営の不振と遊漁者数の減少等から主な収入源である漁業者負担金や遊漁船業者等協力金は減少傾向にあり、大変厳しい状況が続いています。

神奈川県が計画している栽培漁業施設の再編整備計画に基づく生産施設の充実により、種苗の増産による収益の向上を図り経営改善を進めていきます。

2. 事業の内容

(1) 種苗放流事業

①マダイ種苗放流事業

ア. 種苗生産尾数	(全長 20mm)	500,000 尾
イ. 放流尾数	(全長 60mm)	150,000 尾
ウ. 放流場所	東京湾域	50,000 尾
	三浦半島西岸域	50,000 尾
	西湘域	50,000 尾

②ヒラメ種苗放流事業

ア. 放流尾数	(全長 60mm)	60,000 尾
イ. 放流場所	東京湾域	20,000 尾
	三浦半島西岸域	20,000 尾
	西湘域	20,000 尾

(2) 普及啓発事業

①PR推進事業

「栽培ニュース」(2,000部/回、年2回)を作成し県内の漁業協同組合、水産団体、遊漁団体、教育及び公共機関等へ配布し当協会の広報活動を実施します。

また、ホームページから協会の活動状況を積極的に発信していきます。

②イベント推進事業

今年度は各地で開催される地域活動に参加し種苗放流の体験イベントを安全対策や感染対策を踏まえて実施をしていきます。

(3) 調査事業

①マダイ遊漁標本船調査

県内遊漁船の中からマダイ遊漁船11隻を対象に標本船調査を実施します。

(4) 種苗供給事業

①生産供給

アワビ、サザエ、トコブシ、マダイ種苗を生産し漁業協同組合をはじめとする水産団体へ供給します。

従来からの配布先である県外関係機関等へも引き続き供給できるように取組めます。また、クロアワビ種苗の安定生産を行い県外に配布するように努めます。

②幹旋供給

ヒラメ、カサゴ、メバル、トラフグなどの種苗を入手し漁業協同組合をはじめとする水産団体等へ供給します。

事業名	種苗名(サイズ)	7年度(計画)	6年度(実績)
生産供給	アワビ (5mm)	10,000 個	10,000 個
	〃 (25mm)	150,000 個	161,300 個
	〃 (30mm)	35,000 個	34,730 個
	サザエ (15mm)	960,000 個	877,740 個
	トコブシ (15mm)	50,000 個	58,200 個
	トコブシ (大型)	5,000 個	5,060 個
	マダイ (60mm)	240,000 尾	241,180 尾
幹旋供給	ヒラメ (60mm)	223,000 尾	229,913 尾
	マコガレイ (30mm)	34,000 尾	36,000 尾
	クロダイ (60mm)	15,000 尾	15,000 尾
	メバル (60mm)	43,000 尾	56,000 尾
	カサゴ (60mm)	173,000 尾	182,500 尾
	トラフグ (50mm)	9,600 尾	10,000 尾
	カワハギ (50mm)	42,000 尾	11,000 尾

注：サザエは県内 300 千個を含みます。

注：トコブシ (大型) は養殖用種苗